



## 田原本町のデジタル化の取り組みについて

昨年からの新型コロナウイルスの猛威は、私たちの生活、仕事など、あらゆる面で変化をもたらしました。それに対応すべく本町では今年度を「本町の行政デジタル化元年」とし、業務におけるAIやRPAなどのICT活用を積極的に取り入れ、煩雑な手続き・事務を効率化し、限られた人員でより細やかな住民サービスの実現、行政のデジタル化を進めています。

主な取り組みとして…

### ① 行政手続きのオンライン申請

現在行っている児童手当の現況届、母子健康手帳等に加え、新たに「学童保育」の申請開始(令和3年12月～開始予定)。

### ② 町公式LINEの機能強化

AIチャットボット、ごみカレンダーなどのメニューはそのままに、LINEのもつ利便性・特性を活用し、あらたに町からのお知らせやイベント、防災・防犯などの情報を、カテゴリ別に配信できる機能の追加。

### ③ ICT活用

RPAのコロナワクチン接種情報入力等への活用

### ④ 働き方改革

・会議録システムの導入

会議録作成にかかる時間の大幅削減、会議未参加者への迅速な情報共有。

・庁舎内無線化(LGWAN、インターネット環境)

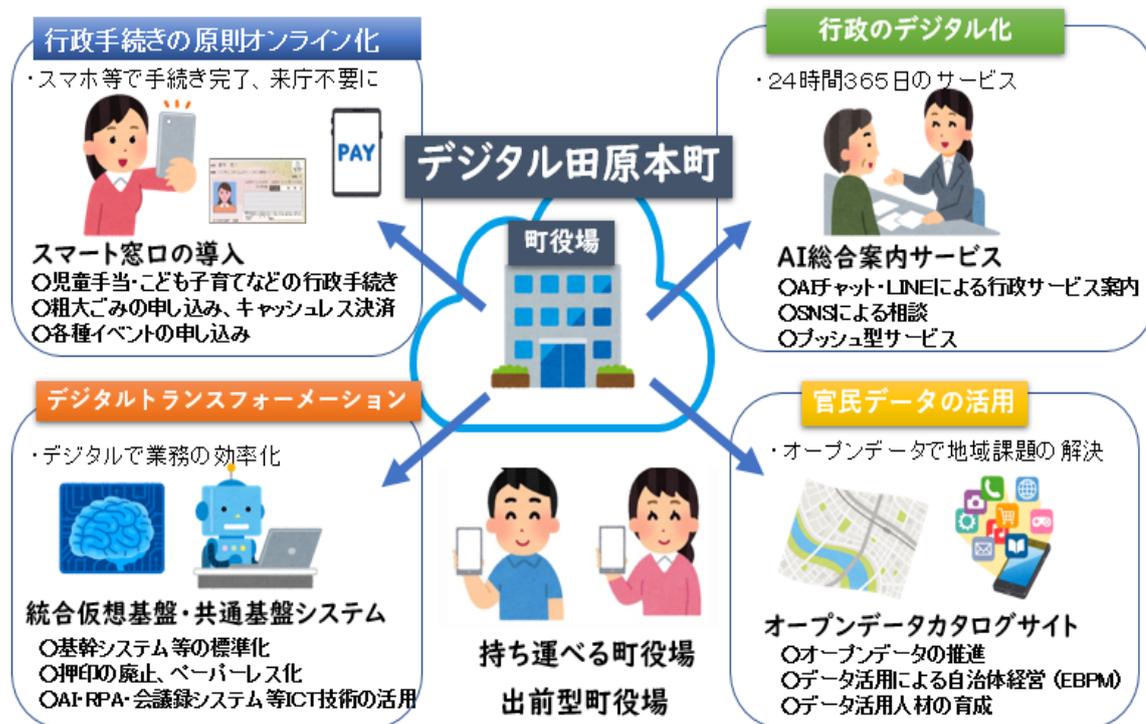
端末の持ち運びが可能になり、会議資料等のペーパーレス化推進。

※別紙表にて「田原本町デジタル化の取り組み」を一覧にしています。

## 【報道資料】

### ⑤今後の取り組み

**デジタル田原本町の創造、簡単・便利な行政サービス実現を目指します!**



本町では現在「田原本町DX推進計画」を策定することとし、デジタル化を進めています。本当に住民が必要とする行政サービスを提供するためには、デジタルの活用方法が鍵だと考えています。

手続き内容やデジタルディバイド問題など課題もありますが、オンライン申請の推進、ICTの活用などデジタルを上手く活用することで住民誰一人取り残さない行政サービスを推進します。

この件に関するお問い合わせ先

田原本町役場 総務部総務課ICT推進室 TEL 0744-34-2073

## 田原本町デジタル化の取り組み

	取り組み内容	開始時期（※予定含む）	詳細（実績等）
行政手続きのオンライン化	児童手当等の現況届 母子健康手帳の交付 保育施設等の利用申込など	H29. 7	マイナポータル・e 古都なら電子申請サービスを利用したオンライン申請を行う。
	学童保育申請	R3. 12	
RPA活用	住民税申告データ入力	R2. 12	申告データを基幹システム（AD2）へ連携を行う。 令和2年度 対象件数：4,000件、約100時間 ⇒ 約6時間程度に削減
	財務会計システム支出命令書等作成	R2. 12	データを事前にエクセルで作成し、自動で財務会計システムでの支出命令書処理を行う。
	コロナワクチン接種情報入力	R3. 4	ワクチン接種情報を健康管理システムへ連携を行う。 対象件数：22,500件×2回分 入力件数：約300件/日 約6時間 ⇒ 約1時間程度に削減
	学童保育申請データ連携	R3. 12	オンラインで受け付けた申告データを基幹システム（AD2）へ連携を行う。 対象者想定：約90名
マイナンバーカード活用	図書館システム	H31. 4	マイナンバーカードを図書館利用カードとして利用する。
	マイナポイント支援	R2. 2	マイナンバーカードをキャッシュレス決済事業者と紐づけることで、最大25%（20,000円使うと最大5,000円分）のポイント付与への登録支援を行う。
	マイナンバー振興券	R2. 9～R3. 2	地域産業推進課の振興券に加え、マイナンバーカード所有者（新規申請者含む）に500円×2枚＝1,000円分の振興券を配布する。 送付総数：10,464（内新規分1,815） 令和2年10月26日～12月23日
	記帳台システム	R3. 3	マイナンバーカード（運転免許証）を活用し窓口の各種申請書を作成する。 ※導入日：総利用件数：813件（令和3年3月24日～11月25日）
	健康保険証としての利用	R3. 10	国が今後予定しているマイナンバーカードの健康保険証利用の登録支援を行う。
LINE	町公式LINEの機能強化	R3. 10	みまもりサービス、安心安全メール、受信設定があらたにLINE機能に追加。 AIチャットボット、ごみカレンダーなどのメニューはそのままに、町からのお知らせやイベント、防災・防犯などの情報をカテゴリ別に配信開始。 友だち数：1,337件（令和3年11月25日）
	AIチャットボット	R1. 12	スマートフォンのLINEアプリから入力された住民からのお問合せにAIが自動回答する。 参加自治体（奈良県、大和郡山市、宇陀市、田原本町、王寺町） 総利用件数：7,761件 平均返答率95.6%（令和元年10月1日～令和3年11月25日）

## 田原本町デジタル化の取り組み

	取り組み内容	開始時期（※予定含む）	詳細（実績等）
ICT活用	水位監視システム	R1	河川の氾濫による浸水被害に備え、河川の水位をリアルタイムで観測し、注意喚起のメールを自動配信する。
	統合型GISシステム	R2. 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木管理課（道路管理台帳）</li> <li>・税務課（固定資産税管理システム）</li> <li>・総務課（固定資産台帳）</li> <li>・地域産業推進課・まちづくり推進課（公園整備）</li> <li>・下水道課（下水道管理）</li> <li>・他全庁的利用</li> </ul>
	ヘルスケアプロジェクト	R2. 10	活動量計を持ち歩き、歩数や体の変化（肥満度を表す体格指数や筋肉率が一定値改善された場合など）に応じて健幸ポイントを獲得する。貯まった健幸ポイントは、年度終了後に、町内の登録店舗で利用できる地域商品券と交換できる。 令和2年度参加者：517名
	重要文化財のNFT化（1921点）	R3. 12	弥生時代の生活文化を知ることが出来る「唐古・鍵遺跡」から出土した重要文化財の実物資料（1,921点）をNFT化する。 ※「NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）」とは、「偽造不可な鑑定書・所有証明書付きのデジタルデータ」の事を言う。
	会議録作成システム	R3. 12	新型コロナウイルス感染症による会議の人数制限等において、自動で会議録が作成されることにより、未参加者にも迅速な情報共有が可能になる。 実証実験 総利用件数：16件（令和3年6月～8月）
	庁舎内ネットワーク無線化	R3. 12	L G W A N、インターネット環境を無線化し、W e b会議や働き方を柔軟に対応する。
デジタル人材育成	人材育成	R2. 4～	内部人材：eラーニング※を活用した職員のスキルアップ ※エクセル・ワード等 受講件数：34件（令和3年4月～11月）
	人材活用	R2. 4～R4. 3	外部人材：I T B o o k株式会社 令和2年度実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システム関連の最適化及び高度化に向けた助言</li> <li>・マイナンバーカード利活用企画提案書</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画作成 など</li> </ul>